



Member of
United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



朝風

教育目標 自立 貢献
～ 夢大きく 共に学び 新たな時代をつくる ～

令和4年度
学校報No.36
令和5年3月2日
大仙市立
大曲南中学校



※HP随時
更新しています

◇いよいよ本番！がんばれ3年生！！

令和5年度 秋田県公立高等学校入学者選抜1次募集の検査日が迫ってきました。3月7日（火）は、それぞれの学校で、5教科の筆記試験と面接試験が行われます。学校や選抜の種類によっては、8日（水）に面接が行われるところもあります。

これまで3年生は、授業時間ばかりではなく、休み時間や放課後も使って勉強してきました。また、面接練習も積み重ねています。3年生の学力の伸びは、素晴らしいものでした。あとは本番で、自分の力を発揮するだけです。自信をもって入試に向かってほしいと思います。



◇本校の表彰が大仙市広報「だいせん日和」に掲載されました。

これまで多くのメディアに取り上げられてきた、本校の表彰（第23回環境美化教育優良校等表彰最優秀賞文部科学大臣賞受賞、あきたSDGsアワード2022）が、3月1日発行の大仙市の広報「だいせん日和」に掲載されました。市教育委員会に受賞報告に行った時の写真とアルミ缶・古紙回収の様子の写真と共に、大きく取り上げられました。3年菅原大翔さんのコメント「先輩たちから受け継いでやってきた活動が評価されてうれしい。これからはいろいろなことに挑戦し、SDGsに貢献したい。」が、これからの南中の方向性を示していると思います。もちろん、3年生も卒業すれば終わりではありません。2030年までの目標達成に向けて

広報見聞録 Public Relations Memories

地域と連携し長年継続してきた環境美化、SDGs達成のための優れた取り組みが評価

大曲南中学校(島田校長・生徒72人)が「第23回環境美化教育優良校等表彰事業」で最優秀校(文部科学大臣賞)として、また「あきたSDGsアワード2022」で学校として唯一の表彰を受けました。

表彰事業(公益社団法人公益財団法人環境共創セレクト)は、独自の環境美化教育のほか、地域と連携しながら継続的に環境美化に取り組む小・中学校を表彰するもの。同校が20年以上にわたり実施しているアルミ缶・古紙回収や、角田川親水公園のクリーンアップなどがいずれも地域住民と連携していること、発達段階に応じた取り組みの姿が地域に好影響をもたらす、地域活性化にもつながっていることが高く評価されました。

SDGsアワード(秋田県主催)は、SDGs達成のための優れた取り組みを行う県内企業などを表彰するもの。同校は、小・中学校内唯一の「エコスクール」として考え、行動する環境教育を掲げ「食育」「エネルギー教育」「国際教育」をテーマにした体系的な学習を推進しています。特に食育に関する活動では、給食の残飯由来の肥料を活用した野菜栽培や地域と協力した食品ロスの呼び掛けなどを継続して実践。ゴミ削減、環境美化などにつながる特徴的な取り組みが評価されました。



(写真左から) 表彰を受けた大曲南中の島田校長と前生徒会長の菅原さん、現生徒会長の伊藤朝聖さん(2年)



SDGs達成に向け、アルミ缶・古紙回収。本館での活動は、地域住民と連携しながら継続しているのが大きな特徴

◎目指すのは

「誰一人取り残さない」(no one will be left behind)

◎手段は

「地球規模で考え、足元から行動せよ」(Think Globally, Act Locally)

◇たくさんの方からコメントをいただきました。

前号(No. 35)に、3年生の社会科「単元の課題：地球上の全ての人が、よりよい生活を送れるために必要なことは何だろうか？」についての生徒の考えを掲載しました。SDGsを多角的に捉えている素晴らしい記述だったので、本校と関わりのあった方にも見ていただきたいと思います。関係者にメールで送りました。そうしたところ、多くの方々からコメントをいただきましたので、紹介します。

○ケンタロ・オノ 様(日本キリバス協会・代表理事：講演会、3年生のキリバスの中学生とのオンライン交流担当)

この度は大変ご丁寧にご連絡くださり、どうもありがとうございました。少しでも御校生徒の皆さんの力となることができたのであれば幸いです。また、なんとと言っても島田校長先生はじめ、先生方と生徒さんの熱い想いに、キリバスの未来の子供たちの故郷に大きな勇気をいただきます。

○高橋 敬子 様(未来のためのESDデザイン研究所：2年生のミステリー授業担当)

生徒の皆さんの成長ぶりをとても頼もしく感じました。持続可能な社会づくりや、秋田の将来のことを真剣に考えて行動できることはとても素晴らしいと感じました。先生方が様々な工夫をされ、生徒の皆さんの学びをサポートされていることが、それを後押ししてくれていると感じます。私の娘は普通の公立中学校に通っているので、前回授業でお伺いした際に、こんな学校で学べたら娘も幸せだろうなと感じていました。高校、大学での活躍がとても楽しみです。ご共有頂き有難うございました。3年生の皆さんが、本当にやりたいことを仕事にし、安心して幸せに暮らせる将来になることを願っています。私も環境教育者として、それをサポートしていけたらと思います。

○石田 好広 様(目白大学人間学部児童教育学科教授：平成29年本校の教員研修指導者)

素晴らしい取り組み、教育実践ですね。1年生のエコハウスの学習は、よく工夫されていますね。3年生の学習はSDGsの根本理念に沿ったものであり、生徒の感想を読ませていただくと、このテーマを自分事としてとらえ、真剣に考えていることが伝わってきます。このような実践は、これまで何年にも渡り、環境教育・ESDに真正面から取り組み、積み上げてきた成果だと思えます。そして、何よりも校長先生はじめ先生方が、環境教育・ESDの必要性を感じ、本気になって情熱的に実践されていることがベースにあるように思います。今後も、このような実践を積み上げ、全国にその事例を発信し続けてください。